

平成25年6月17日（月）

雷別自然再生事業地で シードトラップを設置

雷別地区自然再生事業地で、ハルニレのタネを採取するため、シードトラップを設置しました。

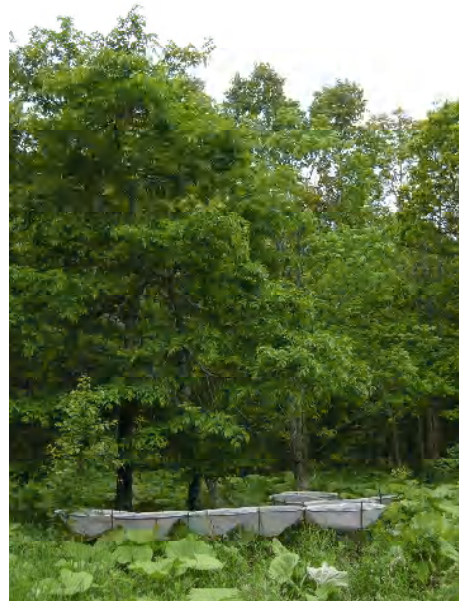
ハルニレの開花時期は、5月上旬(北海道)で、開花後20日前後で種子が形成されるといわれており、翼が褐色になった頃に採取し、自然乾燥させた後、軽くもんで脱粒させます。

また、通常は前処理の必要がなく、そのまま取り播きができますが、やや早く採取したタネでは、数日間の低温湿層処理が有効とされています。

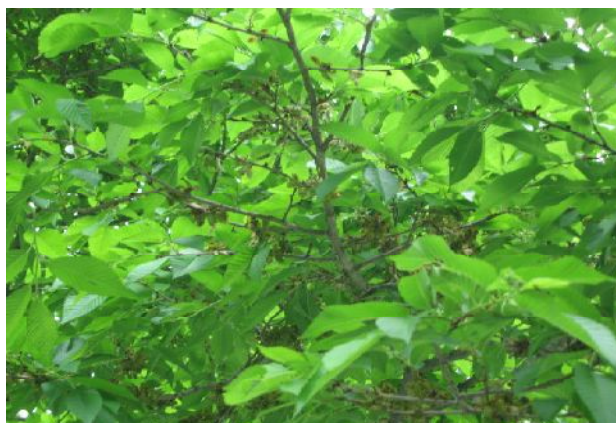
シードトラップの回収とタネの収集は、7月の雷別ドングリ倶楽部の活動で予定しており、収集したタネは自然乾燥した後、マルチキャビティコンテナへ播種する等、森林再生で使用する苗木を育成するために使用します。



▽ シードトラップ設置の様子



▽ シードトラップ設置の様子



▽ 種子結実の様子



▽ 種子結実の様子